

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月24日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス	新型コロナウイルスワクチン接種時に利用できる高齢者バス・タクシー共通乗車券は、利用喚起に有効であったことから、引き続き実施するとともに、コロナ禍における公共交通の利用者減に対応するため、交通事業者への直接補助を実施した。また、石見川・小深・太井・鳩原地域の公共交通ネットワークを再構築し、地域特性に応じた交通モードを導入した。そのほか新型コロナウイルス感染症の影響や市政アンケートによるニーズを把握し、来年度から5ヶ年の取り組みを示した地域公共交通計画を策定している。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:前年度比プラス10% 実績:微増(対R3年度比+3.6%)
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス2(奥河内くろまろの郷経由系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	【輸送人員】 目標:前年度比プラス10% 実績:微増(対R3年度比+7.3%)
南海バス株式会社	路線バス高向線1(高向起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	【輸送人員】 目標:前年度比プラス10% 実績:増加(対R3年度比+13.8%)
南海バス株式会社	路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	【輸送人員】 目標:前年度比プラス10% 実績:増加(対R3年度比+20.7%)
南海バス株式会社	路線バス天野山線4(天野山起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	【輸送人員】 目標:前年度比プラス10% 実績:増加(対R3年度比+24.4%)
南海バス株式会社	路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された		

令和4年度も年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、全路線において利用者は令和3年度比で増加している。一方で、コロナ前と比較すると、依然減少していることから、収束後の利用喚起を図る。併せて、今年度策定予定の地域公共交通計画に基づき市民ニーズに対応した施策を展開する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月24日

協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	河内長野市は大阪府の南東端に位置し、人口約10.0万人(令和4年12月末時点)、面積は109.63km ² と府内で3番目に広い。市域の約7割を森林が占め緑豊かな環境である一方、住宅団地が点在するため公共交通は市民生活を支える大切な交通手段である。 しかしながら、人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの変化などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・充実を図る必要がある。